

安全データシート

作成日:2015/03/01

改訂日:2016/06/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 塩化カリウム
会社名: 高杉製薬株式会社
住所: 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号: 092-621-1231
FAX番号: 092-621-6269

2. 危険有害性の要約

GHS分類: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分2B
GHSラベル要素: 絵表示なし
注意喚起語: 警告
危険有害性情報: 眼刺激
注意書き: [安全対策]
取扱い後は手をよく洗うこと。

[応急措置]
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
異常を感じた場合には、ただちに医師に連絡し指示を仰ぐこと。
漏出物を回収すること。

[廃棄]
内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 単一製品
化学名: 塩化カリウム
濃度又は濃度範囲(含有量): 99.0%以上
化学特性(化学式): KCl
分子量: 74.55
官報公示整理番号: 1-228
(化審法・安衛法)
CAS No.: 7447-40-7
危険有害成分: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ、安静保温に努める。
皮膚に付着した場合: 多量の水で石鹸を用いて洗う。
眼に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませて吐かせる。異常があれば医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤: 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性: 特になし
特有の消火方法: 火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和：	掃き集めて空容器に回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	特になし
注意事項：	容器を転倒させ落させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんを発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項：	吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
保管	
安全な保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
技術的対策：	特になし
混触禁止物質：	特になし
安全な容器包装材料：	ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度 作業環境評価基準： 許容濃度	設定されていない
OSHA PEL：	設定されていない
ACGIH TLV(s)：	設定されていない
日本産業衛生学会：	設定されていない
保護具	
呼吸器の保護具：	防じんマスク
手の保護具：	保護手袋
眼の保護具：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状：	結晶～結晶性粉末
色：	無色又は白色
臭い：	無臭
pH：	5.0～8.0(50g/L, 25℃)
融点：	773℃
沸点(初留点)：	1500℃
引火点：	データなし
自然発火温度：	データなし
爆発範囲(上限・下限)：	データなし
蒸気圧：	データなし
比重：	1.98
溶解度	
溶媒に対する溶解性：	水に溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
n-オクタノール／水分配係数 log Po/w：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	安定。
危険有害反応可能性：	データなし
避けるべき条件：	日光、熱、湿気
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

11. 有害性情報

急性毒性：	飲み込むと有害のおそれ(区分5) 経口 ラット LD ₅₀ : 2600mg/kg (RTECS) 経口 マウス LD ₅₀ : 1500mg/kg (RTECS) 経口 ヒト 幼児 LDLo: 938mg/2D チアノーゼ (RTECS) 経口 ヒト 男性 TDLo: 214.29mg/kg 消化器官-運動過剰,下痢 肺機能-吐気、嘔吐 (RTECS) 経口 ラット LD ₅₀ : 3020mg/kg (SIDS) 経口 ヒト LDLo: 20mg/kg (RTECS) 静脈 ラット LD ₅₀ : 142mg/kg (RTECS) SIDSデータにより分類。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	ヒトのChamber-scarification testで、刺激性の記述があるが、一般的でない試験法であり、刺激性の程度も記録されていないため分類できない。(JETOC)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	目刺激(区分2B) 目刺激 ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS) ウサギの試験で、適用24時間後の観察で“mild reaction”と評価されている。(JETOC推定)
発がん性：	データが不十分。なお、ラットの2年間経口投与試験では発がん性を示唆する所見は認められていないが、1種の動物のみのデータでは分類に不十分。(JETOC)
生殖毒性：	妊娠ラット及びマウスの器官形成期に経口投与した試験で仔の発生に悪影響は認められないが、親動物の性機能又は生殖能に関してデータが不十分。(JETOC)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	ラット雄の2年間経口投与試験で、唯一の影響は、刺激性としての胃炎のみでNOAELは1820mg/kg/day。また、ラット雌の5250mg/kg/dayを105日間経口投与した試験での影響は全て回復性であり重大な毒性影響はない。これらの用量はガイダンス値区分2上限を超えている。なお、ヒトで85mg/kg/dayを4週間、69mg/kg/dayを6週間の経口投与により悪影響がなかったことが報告されている。(JETOC推定)

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性：	ファットヘッドミノー LC ₅₀ : 880mg/L/96hr ブルーギル LC ₅₀ : 2010mg/L/96hr [急性毒性] オオミジンコ LC ₅₀ : 660mg/L/48hr (SIDS) ニセネコミジンコ LC ₅₀ : 630mg/L/48hr (SIDS) オオミジンコ LC ₅₀ : 177mg/L/48hr (SIDS) ササノハ珪藻 ErC ₅₀ : 1337mg/L/120hr (SIDS) [慢性毒性] オオミジンコ EC ₅₀ : 130mg/L/21d (SIDS) オオミジンコ EC ₁₆ : 101mg/L/21d (SIDS)
残留性/分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては関連法規及び地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理委託する。
汚染容器及び包装：	少量の場合：大量の水で希釈して排水処理する。 多量の場合：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号：	非該当
国連分類：	非該当
海洋汚染物質：	非該当
注意事項：	輸送前に容器の破損、腐しよく、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
船舶安全法(危規則)：	非該当
航空法：	非該当
海洋汚染防止法：	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)：	非該当
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

引用文献：

1. 化学大辞典 共立出版(1993)
2. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2008)
3. GHS分類集(I)(II):(社)日本化学物質安全情報センター
4. SIDS:OECD
5. GHS混合物分類判定システム(Ver1.2)経済産業省
6. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。